

第 412 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 7 年 6 月 3 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] K-MIX MOVE ON (月・火)
[放送日時] 令和 7 年 5 月 27 日 (火) 14:08～18:55
4. 出席者 [委員] 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
委員 小野晃司 委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明

5. 事務局報告 ○ K-MIX 第一四半期の状況と半期の見通しについて

6. 番組審議

- [番組名] K-MIX MOVE ON (月・火)
- [放送日時] 令和 7 年 5 月 27 日 (火) 14:08～18:55
- [出演者] 江間 丈 牧村 一穂
- [番組内容] 「K-MIX MOVE ON」は、K-MIX のフラッグシップ
プログラムとして取り組んでいます。
ON から OFF にまたがる時間帯を意識して
K-MIX の“今”のメッセージを発信し、
K-MIX とリスナー、リスナーとリスナーが
同じ時間を過ごせていることを実感し、気持ちを
共有・共感できる、楽しくも心地よいプログラムを
目指しています。
- 静岡市の新静岡セノバにあるサテライトスタジオ
からの公開生放送。地域密着の“ずっと先より
ちょっと先”の情報、番組こだわりの音楽、
そして、1 日の疲れや悩みが吹っ飛び、明日への
活力につながる“笑い”。
- 番組のテイストは月・火と水・木で分けて、
習慣でお聴きのすべてのリスナーに 2 倍
お楽しみいただけるように設定し、
パーソナリティー陣には、信頼される
確かなパートナーとしてリスナーのマインドに
寄り添いをポジティブに変換、生活を彩り豊かに
して行きたいと考えています。

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員

パーソナリティーの江間さん、牧村さんが、放送時間にぴったりであり、明るくて、気持ちが晴れやかになる。

番組の構成要素の「地域密着の“ずっと先よりちょっと先”の情報、番組こだわりの音楽、そして、1日の疲れや悩みが吹っ飛び、明日への活力につながる“笑い”。」が番組を通じてはっきりと感じ取れた。2人とも積極的に聴取者との交流を持とうとしているところも好感が持てる。番組内のコーナー企画も番組の目指すところと一致している。放送時間が長くても、聴取時間の長短に捕らわれずにどこから聴いてもどこで聴き終わっても違和感がない番組構成が良い。

小野委員

パーソナリティー2人がうまく20代の素の部分の部分を放送に出すことができ、聴取者に受け入れられるかが大切な番組。

江間さんがスタジオを飛び出し街中でインタビューするコーナーは、インタビューの相手を尊重しながら、話題を引き出す事がとても上手であり、最終的にはスタジオの牧村さんを絡めた3人のトークとなり、そのトークの技量の高さがわかった。トーク全般では、江間さんは話し方が丁寧で、スポーティーなテンポ、前回の審議時よりも、経験を積んでいることがわかる。一方、牧村さんは、これまでは、ハイテンションなイメージが強かったが、まじめでまっすぐな話し方をすることがわかった。この番組で、これまでのイメージを消し去って、新しいカラーを定着させることができるかが重要。長時間の番組ではあるが、インとアウトが自由にしやすい番組であり、この点をさりげなく演出している作り方が良いと思う。

加藤委員

まず、明るい番組であると感じた。江間さんは、トークにエンジンがかかると勢いがあるって楽しく聴くことができる。比較的、スタジオ外でのインタビュー時に個性が発揮されると思う。またスポーツ選手へのインタビューは、彼の志向に合っている。一方、自分の話の展開がすでに頭の中で出来上がっているようで、その結果、相手との会話を受けて、話題を転換する等は難しく、これからだと思う。しかし、これも江間さんの個性であり、番組の雰囲気も良いので、現時点での問題はない。また、江間さんのトークの勢いを牧村さんがうまく受け取って話を展開するので良い。

服部委員

パーソナリティーのトークや個性は、概ね良好で、番組の構成も良い。特に評価できる要素は2人の掛け合いだと思われる。牧村さんは通常の相槌に加えて、「驚き」「素直な感想」の時、表情が見えるようなとても良い相槌ができる。これはトークの内容の伝わりが深まるだけでなく、リスナーの共感を呼び、親近感も生まれると思われる。番組のコンセプトにも合っていて、全体を通して飽きずに心地よく聴くことができる。番組開始からまだ2か月ながら、今後も期待できるフレッシュなコンビだと思う。

会社サイド

この番組は、牧村の個性が前に出て、それを強みとして江間が進行し、また番組で取り上げる情報は、『すでに聴取者は知っていて単なる情報である』ということ意識した2人の趣味性・パーソナリティー全開の、体験に裏打ちされたものをお届けするように構成しています。K-MIX 唯一の若手コンビ番組として、同年代リスナー獲得のための番組づくりにチャレンジしながら、その結果をもって今後のラジオの在り方を探りたいと考えています。

以上

次回開催日 令和7年7月1日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長

木 宮 敬 信